

# 本県の感染状況

項目	要請時	前回適用開始時	解除決定時	解除時
	5/5 水	5/16 日	6/10 木	6/13 日
新規感染者数(人) (直近1週間の合計)	211	367	62	36
感染経路不明者数(人) (直近1週間の合計)	74	130	19	11
病床使用率(%)	80.0	81.0	22.8	18.9
重症者用病床使用率(%)	28.6	37.1	7.7	7.7

要請時	今回適用開始時	期間延長決定時	本日	
	7/28 水	8/2 月	9/9 木	
485	621	166	63	※5日間継続
224	319	68	24	※8日間継続
37.0	50.1	25.7	14.7	※13日間継続
5.1	12.8	10.3	5.1	※19日間継続

ワクチン接種率 2回目接種	6月末 約16%	9月末(見込み) 約60%
------------------	-------------	------------------

ステージI	ステージII(注意報)	ステージII(警報)
ステージIII	ステージIV	

**ステージIII「感染まん延特別警報」⇒ステージII「感染拡大注意報」に移行**  
**「まん延防止等重点措置」が今月30日で解除**

# 飲食店・集客施設等への要請等、県有施設の取扱い

**「まん延防止等重点措置」が9月30日で解除**

**○ 9月30日をもって以下の要請等を全て解除**

**金沢市内の飲食店等への「まん延防止等重点措置」に伴う要請等**

- ・飲食店に対する20時までの時短要請、酒類提供自粛要請(認証店は19時30分以降)、カラオケ設備利用自粛要請
- ・集客施設への時短要請(1,000㎡超)、協力依頼(1,000㎡以下)
- ・大規模商業施設、百貨店の地下の食品売り場等への入場整理の要請

**白山市、野々市市の飲食店等への県独自の要請等**

- ・飲食店に対する21時までの時短要請、20時以降の酒類提供自粛要請
- ・集客施設への時短協力依頼
- ・大規模商業施設への入場整理の協力依頼

**○ 臨時休園・休館している県有施設**

**10月1日(金)以降、準備が整い次第、開園・開館** (市町への要請も解除)

# 県民・事業者の皆様へのお願い

コロナ前の日常に戻ったわけではありません  
引き続き、感染防止対策の徹底をお願いします

## ア) 県境をまたぐ移動(県民の皆様、県外の皆様とも)

- ・県外との不要不急の往来、および来県を自粛(オンラインを活用)
- ・やむを得ず、往来、来県する場合でも用務先への直行直帰を

## イ) 飲食

### <県民の皆様へのお願い>

- ・新しい生活様式の遵守に加え、原則マスクを着用
- ・大人数・長時間での飲食は慎重に判断
- ・「いしかわ新型コロナ対策認証店舗」の利用

### <事業者の皆様へのお願い>

- ・業種別ガイドラインの遵守
- ・従業員はもとより、来店者に対する原則マスク着用の注意喚起など感染防止対策の徹底

# 県民・事業者の皆様へのお願い

## ウ) 職場

- ・「居場所の切り替わり」(休憩室、更衣室、喫煙室等)に注意
- ・テレワーク、時差出勤、自転車通勤等の人との接触を低減する取組の推進
- ・事業場の換気励行、昼休みの時差取得など、感染防止対策の徹底
- ・業種別ガイドラインの遵守

## エ) 家庭内・学校

引き続き、児童・生徒の感染が確認されております。

- ・家庭内においても、**気を緩めることなく、新しい生活様式など感染防止対策の徹底を**
- ・学校においては、**新しい生活様式など基本的対策のほか、飲食や部活動の場面での感染防止対策の徹底を**

# 感染リスクが高まる「5つの場面」

参考

## 場面① 飲食を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



## 場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



## 場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



# 感染リスクが高まる「5つの場面」

参考

## 場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



## 場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

